

科目名 (科目番号)	老年看護学援助論 (時間割参照)	教員名 佐藤圭子	学科等	看護	必修	履修年次	3
			曜日・時限等	時間割表参照	単位数	2	
			授業形態	演習	オフィスアワー		

授業概要	健康障害のある高齢者に対して健康状態をアセスメントし、QOLを高める視点で総合的に看護展開ができる基礎的能力を養う。また、高齢者の保健・医療・福祉に関わる臨床場面における看護についての知識を獲得することを目的とする。						
目的・目標	目的:健康障害を有する高齢者のアセスメントについて理解する。 目標:①:老年期に多い疾患や症状について理解できる。 ②:生理的加齢変化を踏まえて健康障害をアセスメントし、看護計画の立案までの過程を理解できる。						
準備学習	毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をすること。						

授 業 計 画	回	授業項目	到達目標・学習内容
	1	科目ガイダンス 看護過程導入	到達目標:授業概要と看護過程の事例を理解する。 学習内容:科目内容と進度、看護過程演習の事例について説明を受ける。
	2	食生活を支える看護	到達目標:高齢者の食生活を支える看護について理解する。 学習内容:高齢者の食事、低栄養、脱水の症状と援助を学習する。
	3	排泄を支える看護	到達目標:高齢者の排泄を支える看護について理解する。 学習内容:尿失禁、便秘・下痢の看護援助について学習する。
	4	清潔・衣生活を支える看護	到達目標:高齢者の清潔・衣生活を支える看護について理解する。 学習内容:掻痒、痛み・しびれ、感染症の援助について学習する。
	5	活動を支える看護	到達目標:高齢者の活動を支える看護について理解する。 学習内容:活動、視覚・聴覚の障害について学習する。
	6	休息を支える看護	到達目標:高齢者の休息を支える看護について理解する。 学習内容:高齢者の睡眠の特徴、睡眠障害・休息への援助について学習する。
	7	歩行・移動を支える看護	到達目標:高齢者の歩行・移動を支える看護について理解する。 学習内容:骨粗鬆症、骨折、廃用症候群のある人の援助について学習する。
	8	呼吸・循環機能障害を支える看護(1)	到達目標:高齢者の呼吸・循環機能障害を支える看護について理解する。 学習内容:肺炎、慢性閉塞性肺疾患、高血圧のある人の援助について学習する。
	9	呼吸・循環機能障害を支える看護(2)	到達目標:高齢者の呼吸・循環機能障害を支える看護について理解する。 学習内容:脳卒中、不整脈、心不全のある人の援助について学習する。
	10	高齢者に特徴的な症状・疾患を支える看護(1)	到達目標:高齢者に特徴的な症状・疾患を支える看護について理解する。 学習内容:パーキンソン病、がん、糖尿病、慢性腎臓病について学習する。
	11	高齢者に特徴的な症状・疾患を支える看護(2)	到達目標:高齢者に特徴的な症状・疾患を支える看護について理解する。 学習内容:電解質代謝異常、浮腫、貧血、めまい、体温調節障害について学習する。
	12	認知症とは	到達目標:認知症について理解する。 学習内容:認知症の病態、予防と治療、コミュニケーションの基本について学習する。
	13	認知症の非薬物療法	到達目標:認知症高齢者へのケア、家族への支援について理解する。 学習内容:認知症の非薬物療法やサポートシステム、終末期の看護について学習する。
	14	うつ、せん妄の看護	到達目標:高齢者のうつやせん妄について理解する。 学習内容:うつ病の治療と看護、せん妄の予防やケアについて学習する。
	15	治療を受ける高齢者の看護(1)	到達目標:治療を受ける高齢者の看護について理解する。 学習内容:薬物療法、手術療法における高齢者看護について学習する。
	16	治療を受ける高齢者の看護(2)	到達目標:治療を受ける高齢者の看護について理解する。 学習内容:リハビリテーション、診察・検査、入退院などにおける高齢者看護について学習する。
	17	終末期の看護	到達目標:高齢者の終末期看護について理解する。 学習内容:ターミナル期、臨死期、看取りの時期における看護師の役割について学習する。
	18	高齢者看護の実習	到達目標:高齢者看護実習の基本を理解する。 学習内容:多様な場での臨地実習を想定し、健康課題の抽出から看護実践・評価について事例を通して学習する。
	19	看護過程演習(1)	到達目標:情報を整理し、生理的加齢変化を考慮した【アセスメント】ができる。 学習内容:健康障害を有する高齢者の紙上事例を用いて看護過程を展開し、看護上の問題解決の方法を学習する。

授 業 計 画	20	看護過程演習(2)	到達目標:アセスメントをもとに、病態生活機能関連図が作成できる。 学習内容:紙上事例を用いて看護過程を展開し、看護上の問題解決の方法を学習する。			
	21	看護過程演習(3)	到達目標:情報整理とアセスメントをもとに、病態生活機能関連図が作成できる。 学習内容:紙上事例の関連図を作成する。			
	22	看護過程演習(4)	到達目標:関連図から【看護診断】を導き出し、看護診断リストを作成できる。 学習内容:紙上事例の看護診断リストを作成する。			
	23	看護過程演習(5)	到達目標:関連図から看護診断を導き出す過程について説明できる。 学習内容:関連図と看護診断リストについて、まとめたものを発表する。			
	24	看護過程演習(6)	到達目標:関連図から看護診断を導き出す過程について説明できる。 学習内容:関連図と看護診断リストについて、まとめたものを発表する。			
	25	看護過程演習(7)	到達目標:【期待される結果(看護目標)】が設定できる。 学習内容:紙上事例の看護計画を立案する。			
	26	看護過程演習(8)	到達目標:【看護計画】の立案、アセスメントツールを利用または作成できる。 学習内容:看護計画の立案・アセスメントツールを検討する。			
	27	看護過程演習(9)	到達目標:具体的に評価可能な看護計画を立案できる。 学習内容:看護計画の立案・アセスメントツールを検討する。			
	28	看護過程演習(10)	到達目標:看護目標の設定と看護計画、評価の方法について説明できる。 学習内容:看護目標と看護計画を発表する。			
	29	看護過程演習(11)	到達目標:看護目標の設定と看護計画、評価の方法について説明できる。 学習内容:看護目標と看護計画を発表する。			
	30	看護過程演習(12)	到達目標:看護過程(情報の整理～看護計画)について理解する。 学習内容:一連の看護過程記録用紙を振り返り、個人ワークとして作成し提出する。			
成績評価の方法・基準		対面時:期末試験(50%)+看護過程演習記録(40%)+レポート(10%) オンライン時:看護過程演習記録(50%)+授業ごとの課題(50%)				
教科書		1)ナーシング・グラフィカ老年看護学② 2)看護判断のための気づきとアセスメント老年看護 2)看護診断ハンドブック		1)堀内ふき、諏訪さゆり、山本恵子 2)湯浅 美千代 2)リンダJ. カルペニート/黒江ゆり		1)メディカ出版 2)中央法規出版 3)医学書院
参考図書		随時紹介する				
教員からのメッセージ		①使用教科書:上記「教科書」に加え、2年次の「老年看護学概論」「基礎看護学援助論」で購入した教科書もすべて使用します。②課題レポートはコメントを付して授業内で返却します。③内容や進度は変更する場合がありますが事前にお知らせします。④オンライン授業に伴い授業計画に変更がある場合は、オンラインクラスで変更のシラバスを周知いたします。⑤病院で勤務した看護師がこの授業を担当します。				